



新型コロナウイルス感染症 COVID-19 を考える。

緊急事態宣言が5月14日で解除されました。

しかし、この号が出る頃に再度宣言されているのかわかりませんが、有効な治療法が見つかるまでの長期戦となることは必至の状態です。今回から、新型コロナウイルスで分かってきたことを解説します。

潜伏期間

1日から12.5日で、多くは5から6日といわれています。

新型コロナウイルス SARS-CoV-2 の感染力は、発症の2.3日前から急激に高くなり、発症0.7日前に感染力のピークを迎えることが判明しました。



症状

新型コロナウイルス感染症の初期症状では、鼻水や咳、発熱、軽い喉の痛み、筋肉痛や体のだるさ（倦怠感）など、風邪のような症状がでます。

特に、37.5℃程度の発熱と強い倦怠感は特徴的といえます。

また、“においが分からない”“味が分からない”など、嗅覚・味覚障害を起こすことが分かっており、アメリカの発表では、感染者の68%に嗅覚異常、71%に味覚異常があったとのこと。

そのほか、人によっては鼻詰まりや鼻水、頭痛、痰や血痰、下痢などが生じることもあります。新型コロナウイルス感染症の初期症状はおおよそ5～7日間程度続き、重症化しなければ次第に治っていきます。

重症化

重症化の原因として、サイトカインストームが考えられます。

炎症はウイルスが起こしているわけではなく、ウイルスを排除するための生体防御反応として、自分自身が起こしています。この生体反応が、未知のウイルスに対して過剰に働き、自分自身の肺や肝臓などの主要臓器を破壊してしまうのが、サイトカインストームです。初期症状から7～10日後に発症し、致死率が高く、新型コロナウイルス感染症の主要な死因と考えられています。

また、新型コロナウイルス感染症では、動脈や静脈の血栓症の合併が多いようです。

炎症性サイトカインにより、血小板機能が亢進して血管内血栓を発症すると考えられます。

これにより、心筋梗塞や脳梗塞、肺梗塞を合併して死に至ることがあるようです。

重症化の危険因子は、

- 1) 65歳以上、2) 慢性肺疾患、3) 喘息、
- 4) 糖尿病、5) 重症心疾患、6) 透析中の腎疾患、
- 7) 免疫能の低下、8) 肝疾患 などが示されていますが、これらのほかにも重要な危険因子として「男性」と「肥満」が報告されています。

英国の大学の調べによると、

73パーセントの（集中治療室に運ばれた）重症化患者は男性で、73.4パーセントが肥満だったそうです。

